

W A K A

若
者

G I

樹

校訓：伸びていく 教育目標：自立力・社会力

第3号



東田地域フォーラム 2017

杉並区立東田中学校

東京都杉並区成田東 3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

「ネクスト・ワン」への思い

校長 小松崎 浩

私の好きな言葉に「ネクスト・ワン」というものがあります。座右の銘（ざゆうのめい：心にいつも置いて、自分の行いの教えとしている言葉のこと）にしているものです。これは映画の世界で喜劇王と呼ばれているチャールズ・チャップリンの言葉です。チャップリンが晩年、アカデミー賞を受けた時に記者団にこう質問されました。「あなたは今までにたくさんの映画をつくってきましたが、その中で一番気にいっている作品は何ですか」すかさずチャップリンは答えました。「ネクスト・ワン」と。数々の名作を世に送り出してきたチャップリンですが、今まで自分がつくってきた作品から答えるのではなく、まだできていない「次の作品」と答えたのです。現在までの自分に満足するのではなく、自分の未来に対しての意欲と厳しさをもち続けているチャップリンのその姿勢を知った時、私は感動せずにいたりませんでした。

思えば、私のチャップリンの映画との出会いは、小学校3年生の時に映画館で見た「モダン・タイムス」という映画で、その時は、とにかくおもしろくて笑いどおり、すっかり心をひかれてしまいました。しばらくして、中学生の時に同じ映画を見る機会がありました。その時には、この映画はおもしろいだけではなく、その笑いのウラには当時の社会情勢が描かれていること、さらに作者の社会に対する痛烈な風刺が込められていることを感じ取りました。このことはとても強い感動として、再度私の心を揺さぶり、ますますチャップリンの映画が好きになりました。映画の中で表現されている社会の様子は数年後には現実のものとなり、現代社会の中にも見られる事象となっています。つまりこの映画は、チャップリンからの近未来社会に生きる人々への警鐘（けいしょう：人々に対する警告）だったのかもしれません。教員になってからも、国語科の授業で教材として使用し

たこともあります。それは、チャップリンの映画のほとんどは無声映画といわれている物でしたので、映像という非言語のものに台詞（せりふ）を付けていく、言語化していくという学習でした。周りの情景や登場人物の表情から気持ちを読み取り、その場面にふさわしい言葉を考えていくのです。生徒からいろいろな意見が出て、楽しい授業となりました。

ネクスト・ワンは現在も私の心に置き続けてい る言葉です。学校という所は、毎年毎年に取り組む内容が大きく変わることはあまりありません。しかし、それを単なる繰り返しにしてしまってはいけません。生徒が替われば取り組み方も変わっていくはずです。例えば、去年の運動会よりも今年の運動会ではこういう所に力をいれることができたというように、一歩一歩でも改善の意欲をもって前進していくという意識をもつことが大切です。もうこれで十分と満足してしまうではなく、常に新しいものを追い求める姿勢を、歳を重ねてももち続けたいものです。

第1学期も終業の時を迎え、いよいよ夏休みが始まります。何事にもチャレンジ。まず、行動しましょう。自分からという気持ちをもって、自主的に有意義な日々としてほしいものです。そして8月28日の2学期の始業式には、たくましく成長した東田中生の姿が見られることを期待しています。その時には、夏休み前に思ったネクスト・ワンが、2学期を迎えて新たなネクスト・ワンとなっていることでしょう。



東田中学校の 6 月～7 月

運動会 6 月 3 日

10 月より地域運営学校に指定されます

10 月 1 日より地域運営学校（コミュニティスクール）になります。

現在指定に向け学校運営協議会委員の組織づくりが進んでいます。



真っ青な空の下、第 71 回運動会が行われました。



職場体験 2 学年 6 月 13～15 日

今年度は 3 日間の体験を地域の皆様のご協力で行うことができました。おかげさまで貴重な体験となり大変さを感じながらも働くことの意義や生き方について考えることができました。事業所の皆様、支援本部の皆様にはお忙しい中、大変お世話になりました。ありがとうございました。



スローガン『空前絶後の超絶怒濤の運動会』

3 年生を筆頭にそれぞれの学年、学級の思いが強く感じられた運動会となりました。「最後の運動会！」という思いが込められた 3 年生の演技、係の仕事、応援は 1, 2 年生のすばらしいお手本となつたようです。

暑い中ご参観いただいた保護者、地域の皆様ありがとうございました。

鑑賞教室 2 学年 6 月 30 日

2 学年は、6 月 30 日杉並公会堂にて行われた杉並区音楽鑑賞教室に参加しました。指揮者岸本祐有乃さん、日本フィルハーモニー交響楽団による演奏やテノール歌手新海康仁さんの独唱など普段簡単には味わえない演奏を鑑賞してきました。



3学年卒業生の話を聞く会 7月8日

「高校生活や受験の準備について」という内容で今年度卒業した先輩の川田さん、後藤さん、宇佐美さん、齋藤さんから自分の経験を話していました。3年生としての心構え、夏休みの時間の使い方など、これから準備に大変参考になりました。また、連絡と準備で学校支援本部の皆様には大変お世話になりました。



東田地域フォーラム 2017 6月8日

東田地域フォーラム 2017 を実施しました。青少年委員、民生委員、支援本部、PTAの皆様に参加していただき『地域の一員として、地域の未来を考えよう！』という企画で全校生徒をグループに分け、グループごとにテーマを絞り話し合い活動を行いました。司会とまとめの責任を感じた3年生。みんなで意見を交換する大切さを感じた1年生。遠慮がちながらも先輩を見習って来年はと感じた2年生でした。



小中合同研修会 7月5日

1学年の国語、数学、英語の授業を小学校の先生と一緒に計画し、実施しました。授業後にグループに分かれ、切れ目のない学びについて意見交換を行い、全体会で話し合ったことをシェアしました。済美教育センターから講師をお迎えし、小中一貫教育のポイントについてアドバイスを受け、杉二小・東田小・東田中の一貫教育を考えました。

小中合同あいさつ運動 6月

生徒会本部役員は6月の朝、杉二小、東田小を訪問し、「あいさつトンネル」を使ったあいさつ運動を行いました。



社会を明るくする運動 6月6日

生徒会本部役員とボランティア部有志は、南阿佐谷駅前で「社会を明るくする運動」に参加し、理解を呼びかけました。配布したティッシュは、事前に学校で1年生有志がボランティア活動として袋詰めして準備してくれたものです。



ロールプレイによるいじめをなくす運動

生徒会はいじめについて全校生徒の意識を高め、いじめをなくす取組を行っています。今回は、生徒朝会で「SNSを通じた友人関係」「同性間の悪口」の二つの話を題材に寸劇を行いました。全校生徒には分かりやすいアピールとなりました。



中学生レスキュー隊開校式 7月9日

暑い体育館で熱中症も心配されましたが、今年度中学生レスキュー発足式と合同訓練が行われました。今年度は、3年田中さん、白川さん、2年小野田さん、藤田さん、河橋さん、1年木村さん、尾畠さん、川口さんの8名が参加してくれました。

